



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

総会議長
吉高 叶
総幹事
大嶋果織

Rev. Kano YOSHITAKA
Moderator
Rev. Kaori OSHIMA
General Secretary

8 月平和メッセージ

そして、一人の子どもを連れて来て、彼らの真ん中に立たせ、抱き寄せて言われた。「私の名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、私を受け入れるのである。私を受け入れる者は、私ではなくて、私をお遣わしになった方を受け入れるのである」。

(マルコによる福音書 9 章 36 節～37 節)

世界各地で戦争が続いています。戦争によって最も深く傷つけられるのは、戦争を望んだことのない人々、とりわけ子どもたちです。そうした中で、子どもたちのいのちを守ろうとする人々がいます。

戦争が続くウクライナでも、子どもたちを守る取り組みは途絶えていません。40 年前のチョルノービリ(チェルノブイリ)原発事故によって汚染された地域に暮らす子どもたちを、放射線量が低く、戦闘地域からも離れた場所へ送り、心と体を休ませる保養が今年も実施されたというのです。

戦争は、人のいのちよりも国家や領土、軍事力を優先させます。その戦争のただなかでも、多くの人々が力を合わせ、子どもたちを安全な場所へ送り、食べさせ、休ませ、遊ばせ、学ばせてきました。それは、戦争とは正反対の方向へ向かう営みです。

平和をつくるとは、大きな力を手にすることではなく、傷つけられやすいいのちを守ることではないでしょうか。

日本では、戦争への備えという名のもとに軍事化が進み、原発回帰や核保有・核抑止をめぐる議論が続いています。しかし、私たちが守りたいのは、国家の力でも経済の利益でもなく、一人ひとりのいのちと尊厳です。イエスは一人の子どもを人々の真ん中に立たせ、その子を抱き寄せました。私たちもまた、子どもたちを真ん中に置くところから、平和をつくる歩みを始めたいと思います。

ウクライナで、ガザで、ミャンマーで、イランで、福島で、そして世界中のさまざまな地域で、戦争や暴力、放射能汚染の中から子どもたちのいのちを守ろうとする取り組みが続いています。子どもたちが恐れることなく、安心して食べ、眠り、遊び、学び、明日を思い描くことのできる世界をつくるために、私たちもいのちを守る人々の営みに加わっていきましょう。

2026 年 8 月

日本キリスト教協議会

議長 吉高 叶

総幹事 大嶋果織